

KEN TIMES

2019年 6月号

◆こんなに嬉しいことはない。



◆田植えはイイ・・・。

5-6月は田植えです。皆さまご存知のように、妻の家は飯山でお米の専業農家(なんと25町歩ほどもやっている!【1町歩=約1ヘクタール】)。この時期は毎日真っ黒になりながら、太陽の下、汗を流しています(ハイ、私は専ら妻の補助員ですが)。田植えを手伝いながらいつも思うことは、こういった昔からの人間らしい営みをするって、本当に幸せだな。ということです。日が昇ったら外に出て身体を動かして働き、お昼にはその田んぼで穫れたお米のおにぎり(これが本当にうまい!）、水もガブガブ飲んで、たっぷり昼寝をさせてもらい、それからまた夕方まで身体を動かして働く・・・。心地よい疲れを感じながら、心が満たされていきます。保険の仕事も楽しいけれど、こういう毎日を過ごすのも、凄く幸せだな。



と思います。妻と結婚し、こんな経験ができること、本当にありがたいです。子どもたちも日曜日は田んぼに連れていきますが、飽きもせずカエルを捕まえたり、田植え機に乗ったり、豚を見に行ったり、走り回ったり・・・と、全身でその喜びを感じています。

ここまで僕を感じる良い事ばかりを書いています。しかしまあ現実には過酷過酷! 泥を含んだ重い苗を、ぬかる田んぼで運び、軽トラに積んで、それを何度も繰り返し・・・本当にもうトレーニングですよ。こうした苦勞があって美味しいお米を食べられること、農家の方を心から尊敬し、感謝しています。ありがとう。

とある日の昼下がり、家の食堂でくつろいでいると、「ごめんください、わたくし、松本の…」と、どこかで聞き覚えのある声。一瞬でピンと来ましたよ!(その声は! 松本の宮澤さん!) 玄関に出ると、やはり宮澤さんのお姿が。片手にはこの【KEN TIMES】。「宮澤さん! どうしたんですか!」と僕。「いや～、仲間の旅行で野沢に来てるんですよ。宿の人に聞いたらすぐ近くだっていうもんで来てみたんですよ。」と宮澤さん。・・・わざわざ歩いて訪ねてきてくださったのです。

宮澤さんには、前職の時にたっぷりとお世話になりました。厳しい支店長からも宮澤さんのおかげで叱られなかったという事も数知れず笑。本当にいつも暖かく見守っていただきました。宮澤さんは元教員。いつも知的好奇心に溢れていらっしゃる(宿場町研究がご趣味だそう)。現在、平日は松本城のガイドもされています。いつまでもお元気! 仕事で松本に行く機会のはめっきり減ってしまいましたが、こうしてお客さまといつまでも繋がっていられるということが、営業マンとしては何よりも嬉しいのです。宮澤さん、案内して下さった「まるとや」の正人さん、今回はありがとうございました。・・・僕は幸せです。

◆三洞師匠、湯治&梅雨合宿

僕には仕事の師匠がいます。写真の、イワナを片手に映っている、ちょっと強面のその師匠の名前は「三洞(さんどう)」さんと言います。「三洞」というのは元々、書の雅号で、金融に関する本はもちろん、書の本もこれまでに何冊も出していらっしゃる。その師匠が大宮のご自宅をリフォーム中かつ、5月に緊急の大手術をされたので、湯治という意味で(なのに滞在中は毎日グビグビ美味そうに酒を飲んでいた!)僕の家で一週間滞在していただきました。師匠の滞在中、東は福島、西は熊本と、全国から仕事の仲間がウチに集まり、楽しく酒を飲み、楽しく仕事のアイデアを交換し合いました。いや、本当に楽しかった～！正直、6月の野沢はどこを案内したらいいのかと少し不安でしたが、麻釜を見て、温泉に入ったり、卵を作ったり、たけのご祭りに行ったり、見晴台やキャンプ場



までドライブに行ったり…と、みんなと野沢を回ってみたら、改めて「やっぱり野沢最高じゃん！」と思う事ばかりでした。「野沢マジいいっすね！」とか、「これ、毎年やりましょうよ！」とみんなが言ってくれることが、何よりも嬉しかったです。

中でも、今回の合宿で強く心に残っているのは、師匠と二人で行った赤滝川。溪流釣りの時間です。事前に「他に何もいらぬから、川が見たい」と仰っていました。手術後の身体で、「藪漕ぎ」をして下りていくような川だけれど、大丈夫かな…という僕の心配をよそに、ヒョイヒョイと藪を掻き分け、進んでいらっしゃる。怒られるかもしれないけれど…やはりさすがです！

木漏れ日が射し込む、清らかな川でその音を聴いている…こんな贅沢なことはありません。「ああ、今自分は美しい地球に生きていて、こうして呼吸しているんだな」そんな感覚でしょうか。

師匠とあまり多くを話したわけではありませんが、心と心で、今までで一番お話したような感じがします。

幸せな時間…。

三洞さん、秋までにもう一回行きましょうね！

—4月・5月のお客さまの声—

- ・「孫に最高のプレゼントになった。何でこんなにすごい!?」(60代女性・お孫さんの保険)
- ・「え、学資保険なんてやらないほうがこんなに有利だったんですか!?」(20代・ご夫婦)
- ・「今までのオレのがん保険…ダメじゃん！見てくれてありがとう。」(50代・男性)
- ・「うわ～個人年金なんてやらずに最初っからこっちにすればよかった！今わかって良かった！」(30代・男性)

【連絡先】 河野謙(こうのけん)

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷9829(横落・Fujiyoshi)

携帯080-1294-5162 Mail: fat.da.sumo.ken-ken@i.softbank.jp

携帯Mail: fat.da.sumo.ken-ken@softbank.ne.jp

その他 LINE、facebookのMessengerもご利用ください。